

2017 年度

ホーチミンでの日本語教師ボランティア その1  
(ボランティアの概要とアパート)

土曜教室 小林 保

8月8日、昨年と同様、来日する技能実習生に日本語を教えるためベトナム・ホーチミンに来ました。これから約3ヶ月間、技能実習生の送出し機関：ITM (Information Technology Manpower Joint Stock Company) のお世話になります。今回は、第1センターと第2センターの2か所で教えます。

第1センターは実習生147名(男性：62名、女性：85名)、ベトナム人先生は13名(男性：4名、女性：9名)、日本人の先生は私を含め2名です。その他に事務職員など10名程います。

第2センターは実習生47名(男性：19名、女性28名)、ベトナム人先生は女性3名、日本人先生は週2回の私だけ、ベトナム人職員は1名で、かなり小規模な学校です。第1センターは月、水、木曜日、第2センターには火、金曜日に行きます。



ITM 第1センター

(2階は事務所と女子寮、3階は教室と男子寮、食堂は1階)



ITM 第2センター

(4階は事務所と教室と女子寮、3階は男子寮、食堂は1階)

第1センターはNTT大学の校舎を借用して、第2センターは実習生送出し機関の建物の一部を借用しています。

ベトナム人先生の殆どは20歳代で実習生とほぼ同じ年齢の人が多いです。大学で日本語を勉強した人と技能実習生として日本に滞在経験のある人の何れかで、後者の方が多ようです。日本語教師の日本語のレベルはN3、N2程度で、決して高くありません。事務職員の半数程は、大学又は専門学校で日本語を学び日本語が堪能な人もいます。

授業は8:15から始まり、午前4コマで、午後は13:00から3コマです。1コマ45分、休憩15分で私は1日当たり3~4コマ教えます。語彙の導入、文法等はベトナム人先生が担当し、私はもっぱら会話です。テキストは“みんなの日本語”を使用し、各章の文頭に出てくる文型を使っての自由会話と練習B,Cの文を流用しての質問、回答がメインです。ITMに入校した時期毎にクラス分けしているが、一部の人は既に日本語を学んだ人もおり、レベルにはかなり個人差があります。中には驚くほどに進捗が早い実習生もあり、これは語学に限らず、すべてのジャンルに言えることです。



その他、下記も担当しています。

- (1) 会話進捗度会話テスト
- (2) 実習生の書いた会社名、組合名、住所の漢字の読み方チェック
- (3) ITM 職員が書いた教育報告書の日本語チェックと訂正

私の住むアパートはホーチミンのほぼ中心に近いところにあり、買い物、食事をする時に非常に便利で、近所に“すき家”ができて、先日、実習生達と牛丼を食べに行ってきた。メニューは日本とほぼ同じで、ラーメンもあります。ゆったりと食事ができ、パソコン、スマホなどで長い時間くつろぐこともできます。ベトナム料理は昼食を学校で食べる以外、あまり食べません。朝食はコンビニで買ったパン、果物、牛乳等が多く、夕食はご飯を炊き、パックの牛丼、親子丼、カレー等をレンジしています。日本食レストランに行くことも多いです。



私の部屋は4階で、去年は同じアパートの3階に住んでいました。25畳程のリビングとバストイレで、テレビ、電子レンジ、冷蔵庫、湯沸かしポット付です。月、水、金は掃除を火、木、土は洗濯をしてくれます。

